



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

# のだて 稔史

と し ふ み ニ ュ ー ス

区政報告について  
ご意見、ご要望を  
お寄せ下さい。

仮事務所：品川区豊町6-12-6 Tel：03-3786-6674  
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

## 医療的ケアの必要な重度障害者が 当たり前前に生活できる支援を

**医療的ケアの必要な  
障害児者数**

18歳以上： 33人  
18歳未満：延べ 50人  
うち人工呼吸器使用3人  
(2017年度)

**人工呼吸器を使用し  
ている障害児者数**

18歳以上： 13人  
18歳未満： 11人  
(2018年末)

全ての障害者の人権が保障され尊厳が守られる社会を掲げ、その実現へ必要な措置を義務づけた障害者権利条約の立場で、共産党は重度障害者が当たり前前に生活できる支援を求めました。

**通う所がない**

医療的ケア児は10年間で約2倍に増えていると言われています。ある人工呼吸器をつけた20代の重度障害の方は経管栄養、たんの吸引など、24時間の看護・見守りが必要です。知的障害はなく、ストレッチャーで区立の小中学校、都立高校と12年間通いました。病状は安定しており、高校では自動車をもらったそうです。

ところが、高校卒業後は品川区に呼吸器装着の重度障害者を受け入れる通所施設がなく、他区の施設に週1日通所するだけです。品川区には呼吸器装着者のショートステイの仕組みもないため保護者は365日休まる日がありません。高齢者のように施設で入浴できる仕組みもありません。

大田区では新たに呼吸器装着者も病状が落ちついていけば受け入れる施設ができました。共産党は呼吸器装着者も受け入れる通所施設とショートステイの設置、当面は荏原病院や区内の医療施設にショートステイのベッドを確保するよう求めました。区は「医療機関との連携を深める中で仕組

ウラへ続く

のだて稔史プロフィール  
1985年品川区生まれ、34歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

みをつくっていききたい」

と答弁。速やかな具体化が必要で。

## 能力を生かして働きたい

この方はパソコンが得意で、将来は在宅でパソコンを使った仕事をしたいと夢を膨らませていました。

しかし、障害に合わせたパソコンを調達し、教えてくれ、就労につなげる公的な支援はありません。

と答弁しました。

## 自分が倒れたら心配

介護しているお母さんは自分が倒れたらと常に心配だと言います。

共産党は緊急通報システムの対象を障害者のいる家庭まで拡大し、利用料を無料にするよう求めました。

障害があっても「能力を生かして働きたい」ことは当然の願いです。共産党は医療的ケアの必要な重度障害者はどうしたら就労支援を受けられるか質問。区は「希望を聞きつつ支援方法の工夫に努める」

区は「個別の事情等がある場合、話を伺い対応する。利用料は受益者負担の観点から無料にしない」と答弁。利用料を受益者負担で求めれば、障害が重いほど負担が増えることになり障害者権利条約に反します。



## 区政懇談会

9月14日(土)

午前9時30分～

荏原第四地域センター



## 再開発問題学習会

9月16日(月・祝)午後1時30分～

中小企業センター3階大会議室

戸越公園駅周辺のまちづくりについても考えます。ご参加下さい。



無料

法律相談

9月10日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史仮事務所 豊町6-12-6  
お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。  
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674  
場所が変わりましたので間違えないようご注意下さい。

日本共産党